

○第92回遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：平成23年6月27日（月）14：00～16：37

議事概要：

（1）食品健康影響評価について意見を求められた遺伝子組換え食品等の安全性評価について

1）DP-NO. 1株を利用して生産されたアスパルテーム

・継続審議となった。

\* 甘味料として使用される食品添加物です。

2）GLU-NO. 4株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム

・審議の結果、一部修正した上で、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

\* 調味料として使用される食品添加物です。

3）乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した1品種を除く）

・審議の結果、一部修正した上で、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

4）乾燥耐性トウモロコシMON87460系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した1品種を除く）

・審議の結果、一部修正した上で、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

5）チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した2品種を除く）

・審議の結果、一部修正した上で、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

\* 3）、\* 4）、\* 5）安全性評価が終了しているトウモロコシ3品種を交配によって掛け合わせた品種ですが、収穫される種子は1粒ごとに形質が異なります。したがって、すべての掛け合わせ品種のうち、安全性評価が終了している品種を除く品種が評価の対象となります。

（2）その他

・遺伝子組換え植物の掛け合わせ品種の審議に係る今後の取り扱いについて、意見交換を行った。